

中学校英語

## 理想の授業 CHECKLIST

2021年、  
先生方は  
どんな授業が  
したいですか？

- ☐ 生徒が積極的に英語で話したくなる授業がしたい。
- ☐ 生徒の自由な発想を高めるような授業がしたい。
- ☐ 生徒の気づきを促すような授業がしたい。
- ☐ 生徒が英語で「できる」ことが増える授業がしたい。
- ☐ 英語が好きな生徒を増やす授業がしたい。
- ☐ 生徒の英語力の成長を実感できるような授業がしたい。

ひとつでも当てはまったら…

**Here We Go!**と一緒に、  
新しい一步を踏み出ませんか。

令和3年度版 中学校外国語科 英語 教科書

# Here We Go!

ENGLISH COURSE

こう  
変わる！

英語  
教育は



光村図書

内容解説資料

発行者：小泉 茂 発行所：光村図書出版株式会社  
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9 電話 03-3493-2111(代表)  
光村図書ウェブサイト [www.mitsumura-tosho.co.jp](http://www.mitsumura-tosho.co.jp)  
印刷：株式会社加藤文明社  
デザイン：氏デザイン イラスト：アボット奥谷



子どもたちの未来のために、光村図書は、教科書の作成にあたって、  
「環境」「健康」「子どもの特性」に配慮しています。  
・原料や製法など、環境に配慮した紙を使用しました。  
・環境と健康にやさしい、エコマーク認定の植物油インキで印刷しました。  
・カラーユニバーサルデザインに関して、細心の注意を払いました。  
・生徒の学習負担を軽減するように配慮された書体を使用しました。  
・特別支援教育の視点から、専門家の入念な校閲を受けました。



光村図書

内容解説資料

この資料は、一般社団法人教科書協会が定めた  
「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

# 英語教育が変わります！

英語教育は今、大きな変革期を迎えています。

実際のコミュニケーションで活用できる英語の力を身につけるために、

中学校英語教育の現場はどう変わっていくのでしょうか。

まずは2021(令和3)年度から全面実施される、中学校の新学習指導要領のポイントを確認しましょう。

## 小学校外国語の教科化

2020年度から、小学5・6年生は教科としての外国語を学びます。また、3・4年生は週に1時間の外国語活動の授業を受けます。小・中・高の連携がこれまで以上に求められます。

## 思考力・判断力・表現力の育成

新学習指導要領のポイントの1つは、「思考力・判断力・表現力」の育成です。外国語科においては、互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動を通して、生徒が主体的に考え、仲間と対話をしながら、考えを深められる授業を行うことが求められます。

## 「即興力」の育成

新学習指導要領では、「話すこと」の目標の中に「即興」という言葉が使われています。「話すこと」が[やり取り]と[発表]に分けられ、今までの「自分の考えを伝える力」に加え、「即興でやり取りする力」や「即興で発表する力」を生徒に身につけさせる必要があります。

## 学習内容の増加

新学習指導要領では、中学校で扱う指導語彙の数が1,600～1,800語と示されました。現行の学習指導要領の1,200語から、大幅な増加です。ここに小学校の語数である600～700語を合わせると、中学校卒業までに計2,200～2,500語を扱うことになります。

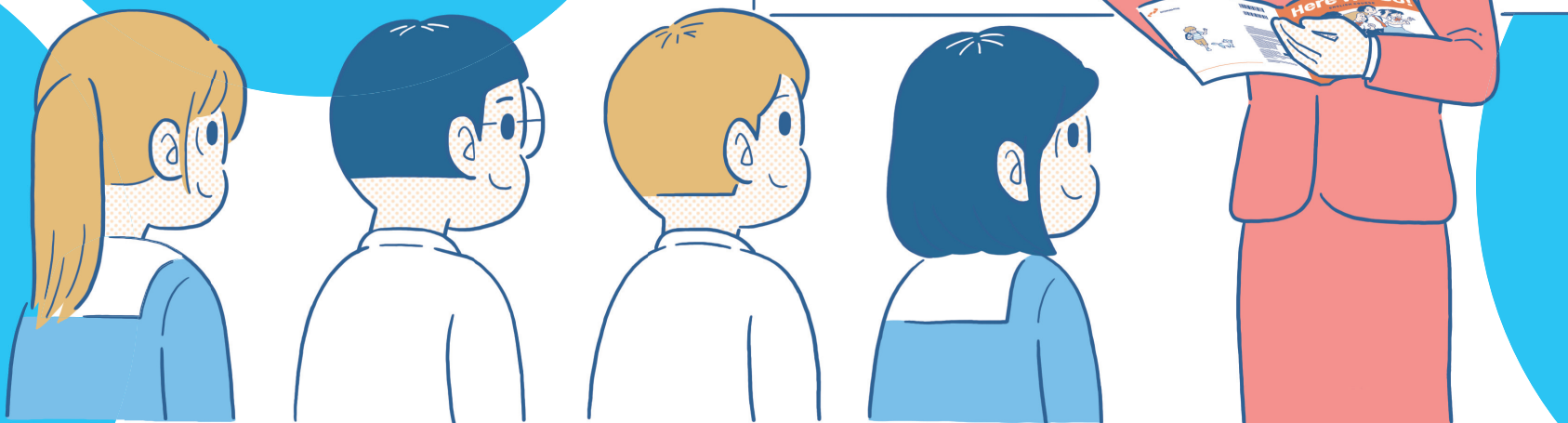
また、これまで高校で学習していた現在完了進行形・仮定法などの文法事項も、中学校で学習することになります。

## 中学校でも授業は英語で

新学習指導要領では、「授業は英語で行うことを基本とする」と示されています。これは「生徒が英語に触れる機会を充実」させ、「授業を実際のコミュニケーションの場面とする」ことをねらいとしたものです。つまり、先生と生徒が英語でやり取りすることで、授業を生きたコミュニケーションの場面とすることが大切です。

## 5領域を統合的に学習

新学習指導要領では、言語活動を通して「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の5領域を統合的に育成することが求められています。複数の技能を統合して行う活動を設定することで、言語の自然な使用場面に近づけ、実生活や社会で活用できる力を養うことが求められます。



# でも、どうしたらいいの？

中学校は学校行事や部活の対応が多く、授業の準備をする時間が十分に取れない…。

日々の授業で具体的に何を变えていくべきなのかわからない…。

どう指導すれば生徒が英語で話せるようになるのかわからない…。

学習内容がレベルアップしているけど、生徒にわかりやすく指導できるかな…。

## その悩みに、お答えします！

中学校で新学習指導要領が実施され、さまざまな変化が予想される2021年度。

不安や悩みを抱えている先生も多いのではないのでしょうか。

次からのページでは、先生方のお悩みに、Here We Go! の編集委員がお答えいたします。

# Q1

「思考力・判断力・表現力」の育成が大切だと言われていますが、中学校ではどんな活動をすればいい？

技能を統合した活動ってどう指導すればいい？

目的・場面・状況が設定された言語活動ってどんなもの？



# A1 自由なやり取りを促す タスクを中学校英語に 取り入れましょう。

名城大学教授 まつむら まさのり  
松村 昌紀先生

## タスクとは

タスクとは英語を聞いたり話したりすることで情報を伝達・共有したり、問題を解決したりする課題です。表現の際には生徒みずからが用いるべき表現、話すべき内容を工夫して目標の達成を目指します。生徒自身が主体的に考え、判断し、表現することで、アクティブ・ラーニングが自然な形で実現されます。

## タスクを取り入れた活動の特徴

タスクを用いた言語活動が練習型の活動と大きく違うのは、言語形式の選択が生徒たちに委ねられていることです。タスクは「習った表現や文法項目を使わせるための課題」ではありません。活動の際、最も大切なのは先生がこのことを理解し、使用する表現や文法項目の指定や指導をしないことです。

活動前に生徒たちに与えたほうがよいものがあるとすれば、それは用いるべき語や構文ではなく、生徒たちが必

要に応じてゴールへの到達方法や効果的な表現などを計画し、準備するための時間です。活動中は、生徒たちが協働して目標を達成していく様子をどうぞ見守ってください。

## 指導のポイント

タスクを用いた活動は「楽しく取り組めて、通じさえすればそれでいい」というものではありません。先生としては生徒たちが使っている表現を収集し、活動終了後にフィードバックとしてより適切な表現方法を示すことで生徒たちの「気づき」を促し、その体験を新しい学びに繋げることが大切です。活動の成果はクラス全体で共有し、どのペアやグループが最も多くの発見をしたか、優れた成果を生み出せたか、有効な解決にたどり着けたかなを確認し、評価し合うといいでしょう。タスクを用いた活動を経験することで、生徒たちは自分が英語を使って「できる」(Can-Do)ことへの手応えを感じながら、新たな活動への意欲を高め、同時に表現形式への関心を深めていくことでしょう。

キーワードは…

「タスクの設定」「主体性」「目標の達成」

Here We Go! にお任せください

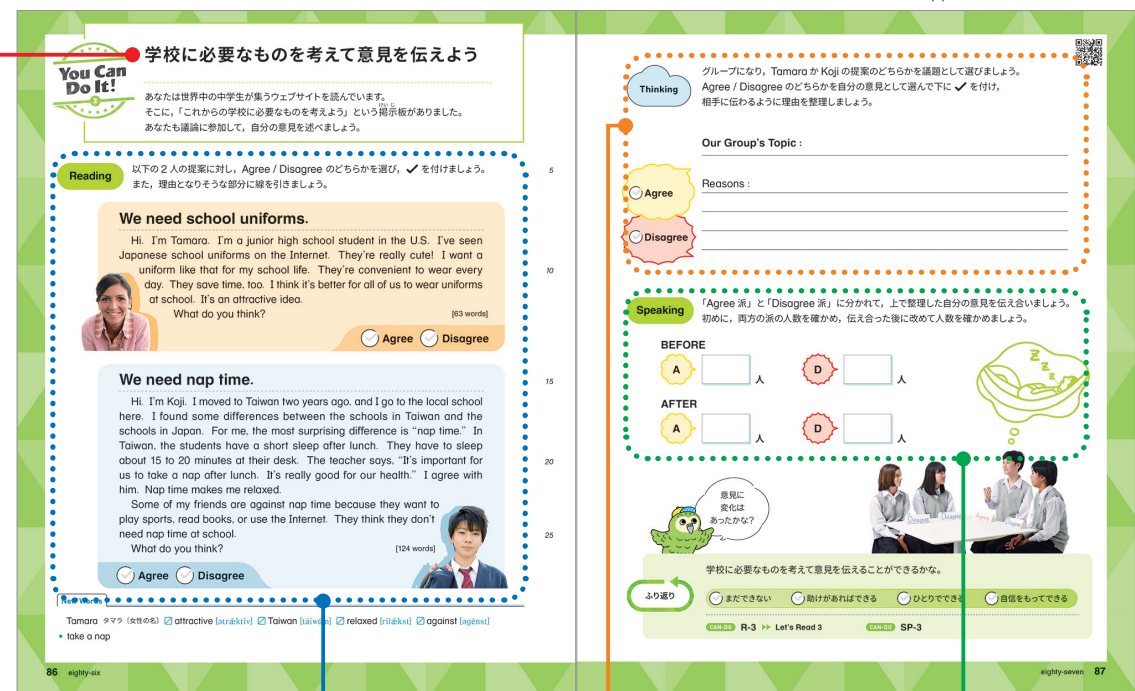
Here We Go! は…

タスクを取り入れた言語活動で、「思考力・判断力・表現力」を育成します。

## You Can Do It!【思考力・判断力・表現力を磨く】

- それまでに身につけた知識・技能を統合的に使って取り組む言語活動を、年3回設けました。
- 目的や場面・状況に応じて主体的に伝える内容を考え、表現する活動を用意しています。

3年 pp.86-87 You Can Do It! 2



### タスクの目標を提示

生徒が言語活動の目的や場面・状況を意識して行えるよう、具体的な目標を設定しています。

### 学校に必要なものについての意見文を読む

読む目的（ここでは Agree / Disagree を選ぶ）が最初に示されていることで、目的をもって読む活動に取り組むことができます。

### グループで議題を選び、自分の意見を書く

Thinkingでは、対話を通して思考を活性化し、アウトプットに向けて自分の意見を整理します。ここで生徒は自分の持っている表現を駆使して意見をまとめます。

### グループで意見を伝え合う

モデルとなる発話例をあえて提示しないことで、生徒みずからが内容や表現を考え、工夫して目標の達成を目指します。

# 全国学力テストが 中学校英語の授業を変える!?

## 全国学力テストに英語が導入

文部科学省が中学3年生を対象に実施している「全国学力・学習状況調査」。このテストに、2019年度から新たに英語のテストが加わりました。これは英語の5つの領域「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」を測る、初の中学生向けの大規模な学力テストです。特に「話すこと」については、タブレット端末などを利用した音声録音方式で行われるなど、その出題形式も含めて大変注目されました。

## これからの英語教育で重視される力

全国学力テストは、学習指導要領において特に重視される点を具体的に示す、いわば文部科学省からのメッセージとも言えます。「聞く」「読む」こと中心の学習ではなく、「書く」「話す」ことも加えた、総合的な力の育成が一層求められているということになります。新学習指導要領でも、5つの領域を総合的に育成することが求められており、特に発信力の強化が重視されています。

また全国学力テストでは、ただ知識を問う問題だけでなく、目的や場面に応じてその場で伝えたい内容を考え、英語で表現する問題が設定されました。これは新学習指導要領で求められている、もっている知識や技能を総合的・統合的に活用し、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて表現したり、伝え合った

りすることができる力の育成につながるものです。これは今後の高校入試の問題がどう変わっていくかについての羅針盤とも言えそうです。

## テスト結果から見えた課題と今後

2019年度全国学力テストの平均正答率を技能別に見ると、「聞く」68.3%、「読む」56.2%、「書く」46.4%に対し、「話す」は30.8%にとどまりました。特に即興での会話や自分の考えを伝える問題の正答率が低く、発信力に課題があることがわかります。

今までの授業が「聞く」「読む」ことに比重が置かれていたのであれば、これからは5領域の力を総合的に育成する授業を意識して行く必要があります。

2019年度全国学力テストの  
技能別平均正答率

|    |       |
|----|-------|
| 聞く | 68.3% |
| 読む | 56.2% |
| 書く | 46.4% |
| 話す | 30.8% |

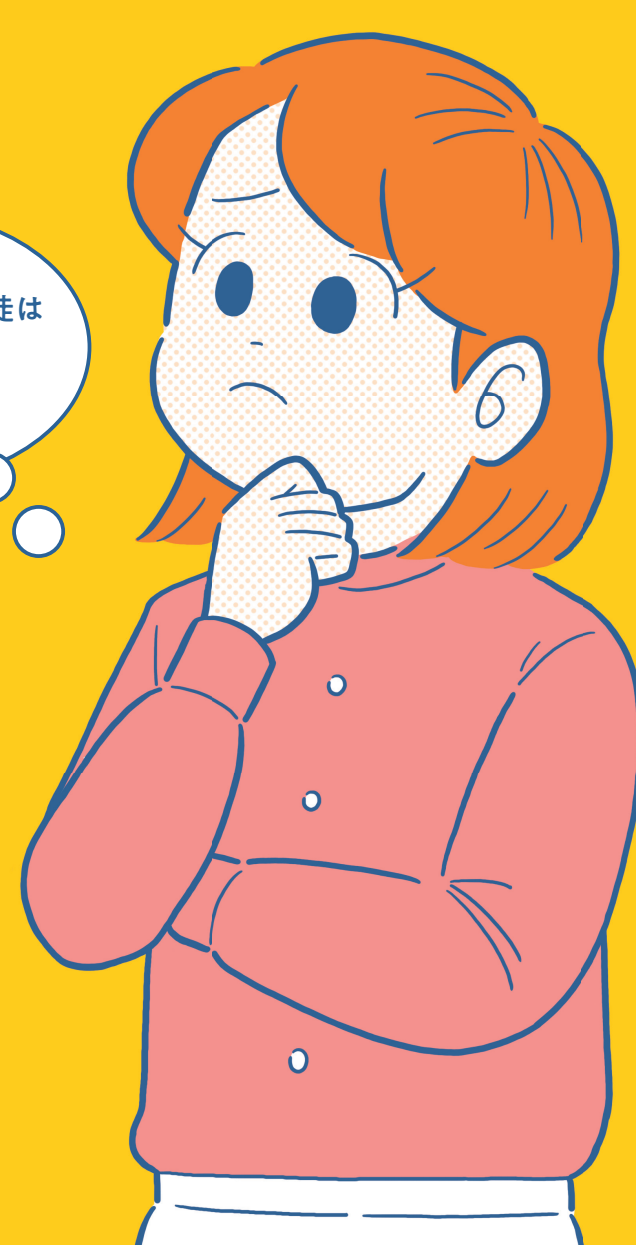
※「話す」は不参加校もあるため参考値として集計

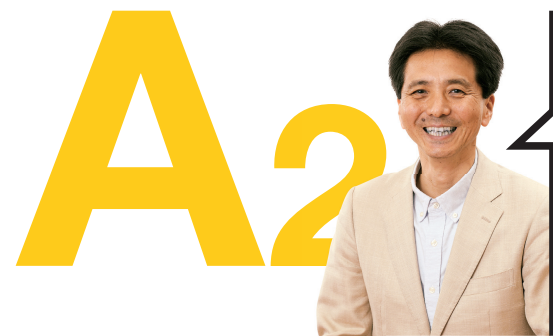
# Q2

新学習指導要領で  
求められている「即興力」は、  
どうすれば身につけられますか？

うちの中学校の生徒は  
1分間も対話が  
続かないけど…

「即興で伝え合う力」を  
育成するにはどんな  
指導をすればいいの？





# トピックを工夫しながら 日々の授業で継続的に 練習することが大切です。

おお た ひろし  
東京家政大学教授 太田 洋先生

## 即興力を育成するために大切なポイント

即興でのスピーキングが難しいのは、話す内容を考え、どのような言葉(語句、文法)で伝えるかを決め、音声化し、それを自分の耳で聞く(モニターする)という過程を瞬時に  
行う必要があるためです。やり取りでは相手がいるので、さらに難しくなります。即興力を育成するためには、スピーキングのメカニズムの3つの要素である①内容、②言語、③発音 を考えることがポイントになります。

まず①の内容で大切なことは、生徒に自分の話したい「ネタ」を持たせることです。好きなものや趣味など、身近で話しやすい話題について考えさせましょう。**Here We Go!**では、生徒たちの身近な話題を豊富に扱っている  
ので、登場人物のやり取りを参考にして話す内容を考えさせてもいいでしょう。自分の話したいことが多ければ多いほど、気軽にやり取りができるようになります。

②の言語面では、やり取りに役立つ表現や使いたい表現を教科書から抜き出させることをおすすめします。教科書の表現を、「自分ならこう言う」と考える習慣をつけさせると、使える言葉が広がります。教科書の表現を使えるよ

うにする練習として、「リテリング」の活動が効果的です。  
また、やり取りをした後には「〇〇さんが使ったあの表現は使える」などと振り返ることが大切です。また、振り返りの後には相手を変えて、「次はこれを使いたい」と思った言葉を使う機会を与えるようにしましょう。

## 指導のポイント

最後に③の発音は、相手に伝えるために発音すること意識させましょう。相手のことを考え、スピードや強弱などに気をつけることが大切です。教科書には文脈のあるやり取りが豊富にあるので、音読をする際には、「この場面ならどのような言い方になるかな」と考えさせるといいでしょう。

即興のやり取りは特別なものではありません。日常的に行い、慣れていくことが大切です。まずは授業の最初の5～10分を使って、先生が自分のことを生徒に話してください。その後、生徒たちがペアでやり取りをします。こうした練習を帯活動として毎時間続けると、最初は1文  
だけしか話せなかった生徒も、2文目、3文目と足せるようになります。

キーワードは…

「身近な話題」「帯活動」「リテリング」

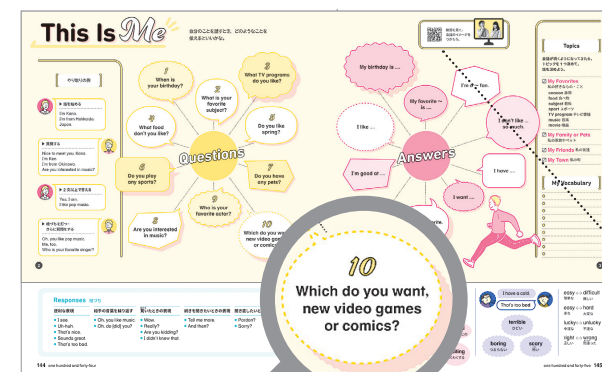
**Here We Go!**にお任せください

**Here We Go!** は…

「即興力」を高める帯教材を豊富に用意しました。

## Let's Talk!【対話を続ける】

- 学校生活や家庭生活などの日常的な話題について即興でやり取りを行うコーナーです。
- 生徒が話しやすいトピックや、答える時の手がかりが載っているので、生徒自身で会話を進められます。
- ページ下部には相づちや気持ちを伝える言葉のリストが用意されているので、会話を続ける助けになります。



1年 とじ込み帯教材 Let's Talk!

## どうやって使うと効果的?

最初から会話が續かないのは当然です。毎回の授業で練習をすることで、少しずつ話が続けられるようになります。トピックを変えながらくり返し活用することで、即興でやり取りする力が育ちます。



QRコードから、実際に中学生がやり取りをしている映像が視聴できるので、やり取りを続けるイメージをもつことができます。

ココが使える!

## Story Retelling【自分の言葉で話す】

- ピクチャーカードを使って、教科書本文の内容を自分の言葉で伝える活動を行うコーナーです。
- ピクチャーカードやワークシートを準備する必要がないので、授業内で気軽にリテリング活動を取り入れられます。

1年 帯教材 p.143 Story Retelling



## リテリングには どんな効果があるの?

新しい文法や表現を学ぶと、前に学習した文法や表現を忘れてしまいがちです。大切なのは既習表現を何度もくり返し使うことです  
が、なかなかタイミングがありません。リテリングは、教科書で学習した表現を自分の言葉として考えてくり返し話すことで、学んだ文法や表現を定着させる効果があります。

1 Unitの本文はストーリーでつながっているの  
で、生徒が内容を無理なく思い出せます。

2 初めは1文しか話せなくても、ペアやグループで活動を行うことで、友達が使った言葉や表現を取り入れて話せるようになります。

ココが使える!

## 変わる!! 高校入試

2020年度から小学校を皮切りに実施される新学習指導要領を受けて、英語教育は大きく変わります。これを受けて、高校入試もすでに変化し始めています。これからの高校入試に必要なのは、こういった力でしょうか。

### 5つの領域を評価

新学習指導要領では、英語の5つの領域「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」を総合的に育成することが求められています。これを受けて、高校入試においてもこれまでほとんど行われなかった「話す」力を測る問題が出題されるなど、英語の5つの領域を評価する方向に変化しつつあります。

例えば東京都では、2022年度入学の試験から新たに「英語スピーキングテスト」の導入が予定されています。また大阪府では、2017年度入学の入試から、スピーキングテストのある民間の資格・検定試験のスコアや級などを入試の英語の得点に換算する制度が始まっています。

### 自分の考えを表現する問題の増加

「書く」力を図る設問においては、「論理的思考力」が求められる問題が増加傾向にあります。

例えば2019年度の埼玉県公立高校入試(学校選択問題)では、「次の情報リテラシーについての英文を読んで、あなたの考えを英語で書きなさい」というように、

時事的な内容について自分の考えをまとめて書く英作文の問題が出題されました。

### 目的に応じた「読む」力の必要性

従来から出題されているリーディング問題にも、変化が見られます。近年は300～700語程度の長文読解問題が出題されており、英文を読む分量は増加傾向にあります。

また従来多かった学校生活や家庭生活などの日常的话题に関するものだけでなく、社会問題や科学を題材としたグラフを含む読み取り問題も出題されています。設問は、文法的な知識そのものを問う設問はほとんどなく、英文の内容把握を問うものが主流です。限られた時間の中で大量の長文を読み解き、こうした設問に答えるには、目的に応じて読み方を工夫し、多くの情報を短時間で処理する力が必要になります。

### これから求められること

こういった高校入試の改革は、中学校の英語教育の現場で5つの領域をバランスよく育成し、実際のコミュニケーションの場面で活用できる英語力の習得を促すことがねらいであると言えるでしょう。高校入試は、今後もさらに変化していくことが予想されます。引き続き傾向の変化を注視することが必要です。

# Q3

扱う英文の量が増えて、  
中学生がきちんと  
理解できるか心配です。

教科書の  
リーディング教材は  
時間がかかるから  
十分に組み合わせていない…

最近では高校入試でも  
英文を読む量が  
増えているけど  
どう対策すればいい？



これからは「高速処理」をして読む力を育てることが求められます。

敬愛大学教授 / 元 文部科学省教科調査官  
こうご ひであき  
向後 秀明先生

### リーディングをする上で大切な力

- リーディングをする方法には、主に次の3つがあります。
- ①スキミング(scanning): 広告、パンフレット、電子メールなどから自分が必要とする情報を得る。
  - ②スキミング(skimming): 説明や物語などを読んで概要(=全体像)や要点(=主要な情報)を把握する。
  - ③詳細理解(reading in detail): 説明などを読んで要点や細部の情報を把握する。

どの読み方をするかは、例えば、話題について様々な考え方があることを知るためにスキミングするというように、読む目的(=何ができるようになるために読むのか)によって決まってきます。新課程の中学校では扱う英文の量が従来よりも増えることが予想されますが、特にリーディングにおいて重要になってくるのは、多量の英文からできるだけ短い時間で必要な情報や概要、要点を把握すること、つまり「高速処理」する力です。この力は、高校入試においてもキーとなります。

キーワードは…

「読む目的」「高速処理」「意味を推測する力」

### 「高速処理」できる力を育成するためのポイント

“わかりやすい授業”をしなければならないという気持ちにとらわれるあまり、ついで文ずつ和訳したり、日本語で長い説明をしたりしがちになります。しかし、そのような指導ばかり続けていると、全て日本語に置き換えないと気が済まない生徒を生み出す結果につながります。情報や考えなどを目的に応じて短時間で収集することが求められるこれからの時代では、リーディング(やリスニング)において未知の語に出会っても、そこで止まってしまうずに、前後の文脈から意味を推測して読み(聞き)続けていく力が重要になります。

このことを教師・生徒双方が理解した上で、特に中学校段階では、詳細に理解を求める場面はできるだけ限定することが望ましいでしょう。話題は何か、筆者が最も伝えたいことは何か、それについてどのような補足をしているか、つまり、概要や要点の把握からスタートし、多量の英文をダイナミックに処理できるようになることを目指しましょう。

Here We Go! は…

目的に応じて読む力を鍛える教材を用意しました。

## Daily Life【実生活でも役立つ】

- 実社会に即した具体的な場面が設定された題材を用意しました。

3年 p.64 Daily Life 3



**Read**

1. このポスターは何を呼びかけているでしょうか。
2. 次のことが書かれている部分に線を引きましょう。  
(1) 当日、どの時間帯にどこへ行けばよいか。(——)  
(2) 自分で用意する必要があるものは何か。(~~~~)
3. ペアになり、上の(1)(2)以外にポスターから得られる情報を共有しましょう。

**New Words**

**TIPS for Reading**

**推測しながら読む**  
まず、ポスターが何を呼びかけているかを確かめましょう。ここでは、イベントの日時や注意事項などが書かれていると推測できます。

**読み方のコツ(TIPS)を解説**  
題材や目的に応じた読み方を紹介しました。

- ・ 要点と詳細、事実と感想
- ・ 図表やグラフ など

必要な情報を読み取る  
(スキミング)設問

広告、パンフレット、ポスターなどから、自分が必要な情報を読み取る力を養う課題を設定しました。

## Let's Read【考えを深める】

- まとまった分量の英文を読み、目的に応じて読む力を高められる教材を用意しました。
- 物語から今日的な課題まで 豊富な題材を、さまざまなテキストタイプで掲載しています。

### 文章全体を読んで要点を捉える(スキミング)設問

まとまった分量の文章を読む時に必要になる、話の要点を把握する力を育成する課題を設定しました。

### 読んだ内容について考える設問

発展的な活動として、自分の気持ちや考えを表現する力の育成につながる問いを設けました。

**Read**

セヴァンさんが聞いている人にいちばん伝えたいことは、どのようなことだと思いますか。文章を参考に、\_\_\_\_に入る語句を書きましょう。

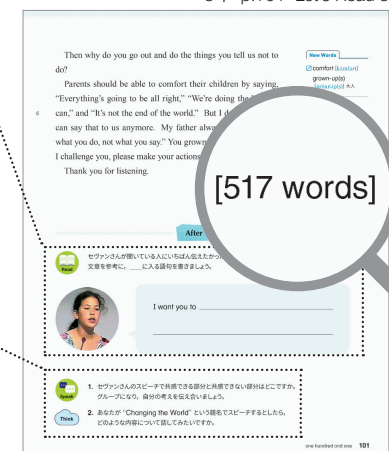
I want you to \_\_\_\_\_

**Speak**

1. セヴァンさんのスピーチで共感できる部分と共感できない部分はどこですか。グループになり、自分の考えを伝え合しましょう。
2. あなたが“Changing the World”という題名でスピーチするとしたら、どのような内容について話してみたいですか。

**Think**

3年 p.101 Let's Read 3



Here We Go! にお任せください